

洲本地区ニュース

平成15年7月29日
洋友会 洲本地区

今回の主な内容

No. 14

・ クラブ活動内容紹介

会社の食堂・組合事務所・診療所などが、7月末に第二工場二階に移りました。訪問される時には、場所を守衛室で確認ください。

今号は新しく立ち上げた園芸クラブ・囲碁将棋クラブの活動を主に紹介しています。まだ部員数が少なく活況な活動まで至りません。関心のある方どしどし参加下さい。

クラブ活動連絡板

☆ パソコンクラブ

本年後半は、書類や案内状などにカットや図を入れて作成していきます。初心者大歓迎



☆ ゴルフクラブ

第19回コンペを8月8日、五色CCで行います。

会員の動き

新しく入られた方のご紹介(最終職場・本人コメント)

会員現在数:61名

やまさき よしのぶ
山崎 善信 さん 5月入会
ソーラセル・企画管理部

きもと ゆたか
木本 豊 さん 7月入会
相談役

4月20日で洲本地区55歳選定年第1号で退職しました。滋賀で17年、洲本で19年、合せて36年間お世話になった会社を退き、洋友会に入会させていただきました。今後の進むべき方向は未定です。よろしく願いいたします。

皆さんの仲間に入れてもらいます。洲本を離れて10年余り過ぎました。この6月末で引退しまして勤続41年です。私の会社生活に於いても、また人生に於いても洲本で勤務したことが最も意義のあるものでした。それは一緒に働いた人達のお陰であると感じています。住いは神戸でいささか離れていますが、喜びも苦労も共にした人達の多い洲本洋友会に参加すれば、楽しく過ごせる機会が増えると考えていますので諸氏先輩方宜しくご厚誼の程をお願いします。

工場見学会に行ってきました

(投稿者:萩野由之さん)

去る7月23日 洋友会洲本地区の恒例行事の工場見学会を実施しました。今回は三洋エナジートワイセル貝塚事業所を訪問。18名の参加でしたが、初めて訪れる人が多く、意義ある見学になりました。田中副社長・川上常務は参加者全員と面識があり、他幹部の方々も大変親切に対応いただき、トワイセルの最新製造工程をつぶさに見学出来ました。清掃や安全標識・掲示物などからも管理の行き届いた素晴らしい運営をされていることに心強く

感じました。また、ところどころで、懐かしい顔に出会い、短い会話が出来たこと、この行事の特徴でもあります。その後、今東光由来の水間寺を見学。雨にむせぶ歴史的建造物を堪能。さらに、やや場違いではありましたが、一度は見ておきたかったりんくうプレミアムへ。津名からのフェリーは95分もかかる長旅、対する姿勢等に議論伯仲、帰りはアルコールも入り、気楽な話題を中心にミニ宴会で楽しくあつという間に到着。

新設 クラブの活動内容

☆ 園芸クラブ (リーダー:吉井 壤さん)

クラブのテーマは、『趣味と実益を兼ねて「楽しみ」と「元気」の創造を』で、簡単に言うと「面倒くさくてわずらわしい庭の手入を楽しくする方法」の勉強会です。庭のある人は近い将来多かれ少なかれ出会う課題と思っています。今からその時の準備をしましょう。奥さんと共同作業や役割分担で一層家庭円満に。花と緑が相手の健康特技を習得。ガーデニングと庭づくりで個性あふれる素敵な庭を。と言うことで 早速メンバー8人で6月7日に「あわじオープンガーデン」見学会を実施。





「オープンガーデン」とは、丹精込めた自宅の庭を一定期間一般に公開し、花・緑の情報や心の交流を深めガーデニングの魅力を伝えるもので1920年代に英国で始ったそうです。淡路島では昨年が第1回目で参加者17軒。第2回目の今年は島内各地で参加者42軒と急増するなど園芸愛好家で「ガーデニング」の関心度が上がっています。「我が家の庭の手入れ」から始まり、将来的には「人と自然が共生する美しい花と緑のまちづくり活動」に発展できればと…。是非この園芸クラブに参加して皆さんの花・緑の特技をご披露して下さい。

参加された方から一言いただきました。

橋本 尚さん

4月発足の園芸クラブに私も早速入会し、オープンガーデン見学や庭木の手入れ講習に参加しました。退職後の時間を有効に使うためにも楽しいクラブです。今後、珍しい花木の種、苗、株分け、挿木接木の穂木等の交換し楽しいクラブに部の一員として活動していきます。

阿部 一三さん

今回園芸クラブに入り、まずは緑摘みの基本を知り 新芽の勢いを制御しました。これからはひとつひとつ知識を得て樹木を知って自分で納得できる庭木に育てていきたいと 期待と希望を抱いています。

☆ 囲碁将棋クラブ

将棋部リーダー：伊藤 東さん

5月27日と6月17日に開催。5月の参加者8名。参加者全員に将棋の魅力をアピールするべく詰将棋を中心にプレゼンテーションを行いました。

江戸時代の将棋名人 伊藤看寿の将棋図巧第99番(煙詰)を紹介しました。この詰将棋王 以外の駒 玉と38枚が初形にすべて配置され、1手指すごとに駒が消去されていき、最後の詰上がりは、王将と攻め方の馬と金の3枚のみとなって、詰上がるものです。117手詰みで回答をたどる私も途中、読み間違いする場面もありましたが、なんとか詰まで持っていました。初心者の方には難しかったかも知れませんが、将棋の奥深さを感じとっていただけたかと思っています。

6月は実戦対局と、その感想戦などを中心に進めました。

当クラブは囲碁・将棋、どちらも交互に勉強できるすばらしい社交場です。もちろん、生活情報も入ります。ぜひ新規参加者の来場を歓迎いたします。

7月は15日に行いました。



追記:6月19日 淡路島で将棋将棋聖戦の対局があり、観戦させていただきました。

サンケイweb.

<http://www.sankei.co.jp/edit/shogi/shogi.html>

に対局開始風景写真が掲載されています。右から二人目が伊藤です。



囲碁部リーダー：山口 正義さん

4月18日キックオフ、5月27日に1回目を開催。

囲碁の効能のひとつである頭の運動による脳細胞の活性化、しいてはボケ防止に良いと言われており

強い弱い、上手下手にかかわらず囲碁をやってみたい、そして囲碁を愛する人々で活動を開始。

初日は、

- ・囲碁基本知識:一手づつ交互に打つ。打つ石は動かさない。

- ・囲碁四つのルール:①相手の石の四方を囲めば取れる。②打てない場所があるが、相手の石が取れる時は打てる。③コウは相手が打った後すぐには取り返せない。

- ④囲った地の多い方が勝ち。

- ・石の連絡と切断

- ・石の取り方

- ・石の死活

- ・棋力と置石の目安

などの説明と参加者による実戦対局の解説指導を行いました。

二日目は、実戦対局と定石を中心に勉強。

- ・実戦対局と解説指導を参加者により行う。

- ・定石の勉強として星編の13定石を実施。

なお、毎週日曜日正午からNHK教育TVで碁講座、NHK杯囲碁トーナメントを放映しておりますので是非見てください。

クラブ員が現在10名と少なく淋しいので、特に初心者の方の入会を熱烈歓迎いたします。

三日目はプロ棋士の対局の勉強と実戦対局対局を中心に行いました。(7月15日)

その他のクラブ活動

ウォーキングクラブ

この春、青海 弘嗣さんと福島 啓寿さんのお二人が屋久島遠征をされましたので、福島 啓寿さんに紀行文をお願いしました。

4月25日から5月8日まで、霧島と屋久島の登山をしてきました。活火山の霧島連峰の縦走に続いて、屋久島にはいりました。霧島では、皆さんも経験したことのないような体験もしましたが、今回は屋久島の報告に絞ります。▲

▲ 青海さんの先導で、二人で登山をしました。寝泊りが出来るスペースを確保できる軽自動車です。全旅行をしましたので、屋久島にはフェリーで渡りました。鹿児島港から屋久島の宮之浦港まで、4時間ほどの短い船旅です。



屋久島は火山とは縁がなく、花崗岩が海中より浮かび上がって出来た島だそうです。島全体が海からせりあ形で、2,000メートル級の岩山がたくさんありました。土はやせており、樹木の生長は遅いようです。海上にせりあがった高山の雨の日がおおく、雨量も淡路島の台風のような豪雨で、私達も一度そんなすごい雨に遭いました。

島についてまず宮之浦にテント場を確保しました。これから登山客が増えると予想されるため、急ぐ必要がありました。海岸べりの月見草の咲く広場で、これから毎日気ままに食事を作り、土地の美味しいものを酒の肴に、ビールや芋焼酎を楽しみました。本来不精な私にはテント生活は気ままであり似合ってるなーと感じる毎日でした。

テント場所の確保が出来た翌日は、島を車で一周し、観光を楽しみました。屋久島での初登山は、到着三日目の太忠山(1,497m)。屋久杉(千年以上の樹齢)の林立するヤクスギランドまで、車で行き、そこから登山開始。登山客もチラホラ。このあたりは何となく薄暗く、神秘的な感じ。この山は登山客が少なく、何度か屋久島に来た人が登るようです。そのため道は整備されてなく、太い木のからみあっている所が登山道。山登りでなく、木登り。まわりは太い苔むした杉のだから贅沢な気分です。ところどころに杉の大木が倒れている。台風などで倒れたらしい。そんな倒木の周りは陽が射して、若い過ぎが倒木を栄養にして成長している中には若木が大木になっているものもある。全ては苔やら緑の木の葉で覆われている。人工的な伐採による切り株も多く残っています。伐採は今では犯罪ですが、古く秀吉の時代、築城のため多量に伐採があったようです。山登りはしんどい。一步一步足を引きずりながら登った。頂上に到達。3階建てのビルほどもある1の岩が居座っている。信じられない光景。その頂上に登るには、ロッククライミングの達人なら可能だろうか？下山は、大阪から来た屋久島好きのおじさんと雑談しながら連れ立った。



日を改めて2日後、九州最高峰の宮之浦岳(1935m)と永田岳(1886m)に挑戦。この山に登れば屋久島登山をしたと言える。朝5時に淀川登山口から暗い中をヘッドランプをつけて登山開始。杉の大木の中を、黙々と進む。明るくなる頃に、山小屋に着きましたが、大抵の人は出発済み。更に進むと花之江河という湿原に出ました。見晴らしが素晴らしく、様々な苔で水面や岩が覆われています。ここを過ぎると、笹が多くなり、特に屋久島独特の景色でもなさそう。ただし、山肌にはとてつもなく大きな岩がゴロゴロ登山者は多く、雑談も出来ました。いくつかの山を登りくんだりしながら何とか頂上に。霧が出たり消えたりする中、目前に永田岳がそびえる。欲を出して永田岳にも挑戦。下山したのは18時頃。本当に疲れ切った。下山報告を警察にしたが、二つの山を一日で登って帰ってくる人は大変珍しいと賞賛された。さらに樹齢7000年の縄文杉に至る登山もしました。

ゴルフクラブ (リーダ 原下 正信さん)

岡山で行われた西日本大会と第18回洲本コンペの内容です。

第4回西日本親善ゴルフコンペ

恒例の大会、今年も岡山・勝山サンフォレストで、5月14日・15日と2ラウンド開催された。洲本からは今年も8名が参加し、楽しい一時を過ごしましたが、生憎今年も初日はあめ！朝5時半の出発時には曇りでしたが、岡山県に入る手前頃からは本格的な雨になり3年連続の雨にはウンザリ。2日目は何とか少し天候が回復しましたが、この時期はこの地区雨が多いそうです。来年度からは開催時期を少しずつずらすのがよいのではと、幹事さんに提案しておきました。さて洲本組の成績ですが、参加人数の割には、毎年成績がよくて今年も好成績を収めました。入賞者以外でも飛賞や馬券の的中率が高く、他地区から洲本は賞金稼ぎの地区と羨望？の的。

▶ 参加する限り、何事にも好成績を残すべきですので、賞金稼ぎも大いに自慢したいと思いますが、只一人何も当たらなかった可哀想な人がいました。それはゴルフ部長！



成績

1日目

準優勝 川野さん

第8位 金谷さん

2日目

優勝 萩野さん

第6位 田中さん

特に萩野さんの優勝スコアは、

OUT 38、IN 41

とただ一人70台でのラウンドでした。

洲本コンペ第18回の内容

6月13日、梅雨の時期ではありましたが、はじめて志度CCで実施しました。梅雨の合間の天候に恵まれ、当日朝までの雨も上りスタート時には絶好のゴルフ日和でした。今回も18名もの参加を得て、楽しくプレーして来ました。昨年度のハンディ改訂から今回まで8回のコンペを実施してきましたが、

▶ 毎回優勝者が替わり、今回は尾田さんが優勝。ハンディの付け方が良かったと自負しております。このような状態で推移しておりますので、まだ優勝されていない方にも十分なチャンスがあります、練習に精をだしていただき、次回はぜひ優勝・入賞を狙って下さい。

健康ポイント

コレステロールについて

朝日新聞・メッドプレスより抜粋転記

コレステロールは、簡単に言えば脂肪のこと。体の中には約100～150gのコレステロールがあり、とくに脳や肝臓、脂肪組織、副腎などに多くあります。血液の中にもあります。

コレステロールは、すべて悪者のように思われがちですが、体を作っている大事な材料です。体は、無数の細胞から成り立っていますが、コレステロールは細胞の膜を作る材料になっている。コレステロールは、また、性ホルモンやステロイドホルモンを作る



材料になるし、消化に重要な役割を果たす胆汁酸を作る材料にもなっています。しかし、血液中のコレステロールの量が多すぎると、不都合が起きます。体内にあるコレステロールは、ほぼ約80%が体内で合成されたものです。主に肝臓で、糖や脂肪酸を原料として非常に複雑なプロセスを経て合成されます。これを内因性脂肪と呼び、これに対し、食事で摂取した脂肪を外因性脂肪と呼びます。

みなさんを、事務所で お待ちしています



事務所の当番は、火曜・木曜日に出ております。

おみやげ話をお待ちしています

洋友会洲本事務所 当番表 (敬称略)

	川野	金谷	廣瀬	原下	萩野	松下
	吉井	青海	山口正	山口喜	近藤	橋本
8月	19日	21日	14日	26日	5・28日	12日
9月	9・30日	16日	11日	18日	23日	2・25日
10月	28日	7・30日	9・23日	14日	16日	21日

事務所電話・FAX番号：0799-23-9702